

茅ヶ崎セントラルクリニック

守谷 広美(看護部/看護師)

功 績	看護助手の2名体制から1名体制への変更に際し、患者特性や業務上の注意点を職種別に整理・共有し、自らも不足業務を補完した。これにより、配置削減後も医療・サービスの質を維持し、新たな業務体制の安定運用を実現した功績。
推薦者氏名	野口伸一(事務長)
推薦理由	守谷氏は、助手配置の見直しという当院の業務改革に対し、透析看護とケアマネジャーの経験を生かして業務整理、職種横断の情報共有、現場支援を実行した。その結果、配置削減後も医療・サービスの質を維持し、新体制の安定運用を実現した。全職員と組織に対する高い貢献意欲を具体的な成果につなげたことから、理事長賞に推薦します。

内 容

守谷氏は嘱託契約終了後、パート看護師として勤務する中、当院が進める業務改革に主体的に参画した。

特に、看護助手の配置を2名体制から1名体制へ変更するに当たり、単に不足する業務を補うだけでなく、長年の透析看護師としての経験を基に、患者対応や助手業務における注意点を整理し、新体制でも安全かつ円滑に業務を行えるよう支援した。ADLが低下した患者については、ケアマネジャーとしての経験を生かして生活背景や介護状況まで踏まえて特性を把握し、糖尿病や下肢創傷に関する知識も含め、各職種に必要な情報へ切り分けて伝達した。

また、負担が集中する時間帯には、自ら看護業務の枠を越えて助手業務を補完し、現場職員の不安や混乱を軽減した。これらの取り組みにより、助手配置を削減した後も患者サービスや医療安全の水準を維持し、1名体制を安定して運用することが可能となった。

さらに、この知識と対応方法を新人看護師や他職種にも共有することで、患者理解と対応力の向上にもつなげている。